

第2回「鹿嶋市第九交響曲コンサート」のソリストオーディションの出演者を募集します。

鹿嶋市では、一般公募による市民合唱団とオーケストラによる第2回「鹿嶋市第九交響曲コンサート」を行います。この演奏会にソリストとして出演する方のオーディションを開催します。

○申込み方法 平成28年7月12日(火)までに、鹿嶋勤労文化会館ホームページからダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、課題曲を録音した媒体(CD-R等)を鹿嶋勤労文化会館へ直接持参、または郵送にてお申込ください。

※録音媒体は、高音質で録音したオーディオファイル形式(MP3、WAV等)のCDで、エラーをさけるために必ずファイナライズをしてください。

ホームページ：鹿嶋勤労文化会館 HP <http://cs-kashima.jp/kinbun/>

○パート ソプラノ、アルト、テノール、バリトン

○応募資格

- ・18歳以上、声楽の専門教育を受けた方、またはそれと同等の実力を有する方
- ・平成28年12月11日(日)の第2回「鹿嶋市第九交響曲コンサート」及び12月10日(土)の前日ゲネプロに出演及び参加可能な方

○課題曲 ベートーベン作曲「交響曲第九番ニ短調作品125」より指定箇所(前後数小節の伴奏演奏は可とする。)

- ・ソプラノ：304小節～312小節 777小節～801小節 830小節～842小節
- ・アルト：300小節～312小節 830小節～842小節
- ・テノール：375小節～431小節 830小節～842小節
- ・バリトン：216小節～256小節 830小節～842小節

○事前選考 応募者が多数(各パートそれぞれ4名以上)の場合は、提出された書類と録音による事前選考を行いません。合格者は7月25日までに通知します。

○オーディション

・開催日 平成28年8月7日(日) 17時から

・オーディション会場 鹿嶋勤労文化会館ホール

(鹿嶋市宮中325番地1 TEL0299-83-5911)

- ・選考委員(3名)
 - ・近藤 良(市民第九交響曲コンサート音楽総監督)
 - ・平松 英子(東京藝術大学音楽学部教授 ソプラノ歌手)
 - ・ほか1名

・その他 伴奏者は各自でご用意ください。ただし、有償(8,000円)により事務局が用意することも可能。

○出演料 オーディションの合格者は第2回「鹿嶋市第九交響曲コンサート」当日と前日ゲネプロへの出演料及び参加経費として8万円(税込み)を支払います。

◇ 第2回「鹿嶋市第九交響曲コンサート」◇

日時・場所：平成28年12月11日(日)14時から 鹿嶋勤労文化会館

合唱：KASHIMA 第九合唱団 管弦楽：KASHIMA 祝祭管弦楽団 指揮：未定

主催：「鹿嶋市第九交響曲コンサート」実行委員会・鹿嶋勤労文化会館・(公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団

●事務局(問合せ) / 鹿嶋勤労文化会館 第九コンサート係 (TEL 0299-83-5911)
鹿嶋勤労文化会館 HP <http://cs-kashima.jp/kinbun/>

《選考委員プロフィール》

近藤 良 (クラリネット) 「市民第九交響曲コンサート」音楽総監督

大阪芸術大学卒業後、ドイツ・ケルン国立音楽大学に留学する。クラリネットを H.D.クラウス氏に、室内楽をアマデウス弦楽四重奏団に師事する。1983 年、日本文化会館（ケルン）のコンサートシリーズ『ヨーロッパの日本人音楽家(Japanische Musiker in europaeischen Staedten)』にアマデウス四重奏団のチェリスト、M.ロヴェット氏の推薦により出演する。以後、デュッセルドルフ総領事館、フランクフルト総領事館等々の主催によるコンサート、室内オーケストラのソリスト等、専門的な室内楽奏者として国内外で演奏活動を行なっている。

現在、鹿嶋市に芸術音楽研究所 KASHIMA を開設し、芸術としての音楽の追究と発展のために、教育、放送等々、様々な活動を行なっている。

これまでに、M.ロヴェット (Vc.アマデウス S.Q)、S.トゥルノフスキー (Fg.ウィーン・フィル首席)、Z.ティルシャル (Hr.チェコ・フィル首席)、L.ヴァルコール (Ob.フランクフルト放響首席)、H.ピツカ (Hr.バイエルン国立歌劇場首席)、U.ショインネ (Va.タピオラ・シンフォニエッタ首席)、コチアン S.Q (プラハ)、T.ヴァルツ (Pf.ケルン音大教授) 等、海外の優れた音楽家たちと共演し、常に高い評価を得ている。

また、Deutsche Schallplatten, Haenssler CLASSIC, Unison Music, 徳間ジャパン・コミュニケーションズから多数のCDがリリースされている。

平松 英子 (ソプラノ)

東京藝術大学、同大学院修了。ドイツ学術交流会(DAAD)奨学生としてミュンヘン音楽大学に留学。

マイスタークラス在学中にバッハ・コレギウム・ミュンヘンの J.S.バッハ「ヨハネ受難曲」でデビューする。修了後、西ドイツの複数の劇場と契約しモーツァルトの歌劇「魔笛」のパミーナ役でオペラデビュー。そして第1回ミュンヒナー・ビエンナーレにてデトレフ・グラナート作曲のオペラ「ライラとメチュヌーン」の初演に出演。また J.S.バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルト、ブラームスなどの宗教曲のソリストとしても、ヘルマン・プライやペーター・シュライヤー、エディット・マティスなどと共演、高い評価を獲得する。そしてウェーバー歌劇「魔弾の射手」エンヒェン役で帰国デビュー後、拠点を日本に移し、オペラからオラトリオ、歌曲まで幅広く活躍。バッハ、モーツァルトからヒンデミット、バーンスタイン、マルタン、ベルクなど現代曲までを歌いこなす柔軟な音楽性は、日本を代表するリリック・ソプラノとして、今は亡き巨匠ジュゼッペ・シノーポリをはじめ国内外の多くの指揮者の賞賛の的となっている。最近では細川俊夫の新作「クリスマス・カンタータ」の独唱者としてミュンヘンでの世界初演の成功に貢献した。CD 録音では「マーラー:大地の歌」「細川俊夫歌曲集: 恋歌」「湯浅譲二:美しいこどものうた」「ロドリゴ:4つの愛のマドリガル」「R.シュトラウス:オフェーリアの歌」「ハイドン:天地創造」「ブラームス:ドイツ・レクイエム」「メンデルスゾーン:エリヤ」などがあるが、「シューベルト歌曲集」(イェルク・デムス伴奏)、「マーラー歌曲全集」(ソプラノ独唱による世界初の全集)、中田喜直芸術歌曲選集など、多くの録音プロジェクトが進められている。

フェリス女学院大学教授を経て、現在、東京藝術大学音楽学部声楽科教授。ジロー・オペラ新人賞受賞。2011 年度ジュネーブ国際音楽コンクール声楽部門審査員。専属アーティスト。